

第2550地区 新入会員紹介



たなべ ひろゆき
田辺博之
(佐野東RC)

㈱田辺機材 代表取締役
平成22年9月1日入会
・伝統ある佐野東RCの一員に
なり光栄です。



なかむら りゅういちろう
中村隆一郎
(宇都宮RC)

日本通運㈱ 宇都宮支店支店長
平成22年11月30日入会
・よろしくお願致します。



やまなか かずや
山中和弥
(宇都宮東RC)

成常建設㈱ 専務取締役
平成22年11月30日入会
・RC活動は初めてですが、ご指導
を頂き頑張りますのでよろしくお
願致します。



よねの しゅんじ
米野俊次
(宇都宮90RC)

㈱河合楽器製作所 調律担当係長
平成22年12月16日入会
・私でも何かお役に立てればと思
い入会させていただきました。
宜しくお願い致します。



ときた ひさお
時田久雄
(岩舟RC)

㈱わたらせ 代表取締役
平成23年1月1日入会
・初めてのRC入会です。宜しく
お願致します。



こばやし ゆういちろう
小林勇一郎
(真岡RC)

ハヤテ工業㈱ 代表取締役
平成23年1月5日入会
・よろしくお願致します。



きくち よしはる
菊地義治
(足利RC)

菊地歯車㈱ 代表取締役会長
平成23年1月7日入会
・孔子の言葉恕を大切にしたい。



ながしま ただし
永島正志
(佐野RC)

ナガシマ労務管理事務所 代表
平成23年1月17日入会
・よろしくお願致します。

■物故会員■ 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



物故
平成22年12月19日
享年91歳
うまがみ げんざぶろう
馬 上 源三郎 様
(宇都宮西RC)

■ロータリー歴 昭和58年1月入会
1985～86年 インターアクト委員長
2001～02年 姉妹クラブ委員長
■財団・米山記念奨学金などの寄付歴
ポールハリスフェロー
米山功労者 3回



物故
平成23年1月10日
享年88歳
ひ やま たけろう
檜 山 猛 郎 様
(氏家RC)

■ロータリー歴 昭和38年11月入会
1967～68年 国際奉仕委員長
1970～71年 幹事
1972～73年 副会長
1974～75年 会長
1991～92年 会員増強委員長 その他
■財団・米山記念奨学金などの寄付歴
マルチポールハリスフェロー (2回)
財団の友 (第1回)
ベネファクター
米山功労者 (7回目)

第2550地区ガバナー事務所

2月のロータリーレート1ドル=84円

〒320-0826 宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551
メールアドレス/m2550@agate.plala.or.jp



国際ロータリー第2550地区

R. I DISTRICT 2550

http://www.rid2550.com/

ガバナー月信

2010-2011

VOL.08



世界平和のために

何ができるか

ガバナー 瀬下 龍夫

1905年2月23日シカゴの新聞にはT. ローズベルト大統領による日露講和条約を報道していました。その日、奇しくもロータリー・クラブが誕生したのです。

当時を思い起こし、みなさん、ロータリーの原点を振り返ってみてください。

さて、時代が大きく過ぎた今日でも、いや現在の方が、世界平和への脅威は大きいかもしれません。テロを含め小さな紛争は続発しています。

世界平和に不可欠なものとして、ロータリー・クラブが理解と善意を強調するプログラムを行うように求められている理由でしょう。

カール・ヴィルヘルム・ステンハマーR財団管理委員長は、市民平和活動という形で平和を語ることもできると、次のような例を挙げられました。

数年前、バングラデシュのグラミン銀行と頭取にノーベル平和賞が贈られましたが、その7年前に同行とムハマド・ユヌス頭取に、ロータリー国際理解と平和賞が授与されています。ロータリーは国際理解の分野では最先端にいるのです。

キプロスには、ギリシャ系住民とトルコ系住民がおり、分断されていましたが、2006年1月に、キプロスのニコシアで都市連合会が開催され、キプロスの全18クラブが1地区の下に結合しました。このように、世界平和に貢献できるといいます。

青少年交換も平和活動に役立っている、と述べています。

夏期交換学生がアメリカから昨年来日しました。その中の一人、ジュリアナのレポートに感動しました。奈良の大仏を訪問した際、彼女がその前でひざまずき祈ると、自然に涙が流れ、これまでの人生において本当に大きな影響を受けたとありました。このような体験談は、彼女のまわりにいるアメリカ人の日本理解に多大な貢献をすると信じます。

それとは逆に、英国の公共放送BBCは、広島と長崎で2度も被爆した方をお笑い番組で世界一の運の悪い男と紹介しました。日本人の原爆に関する感情を理解していないからです。日本では記念日に広島や長崎のニュースが流れますが、世界の人々の心まで遺憾ながら届いていないのです。国際理解の難しさを示す適例でしょう。我々は情報発信において遅れています。もっと積極的になりましょう。

マッチング・グラントへの参加が少ないのもその例証です。海に囲まれているせいか、外国をより深く理解しようとする努力が足りないからでしょう。もし、経費の点でできないというなら、他クラブと共同して行うことをお勧めいたします。

さらに、国際理解を高める奉仕事業は他にもあります。

R I 会長賞の採点表等を再度チェックしてみてください。

今年度の事業計画はすでに実行済みであり、予算上さらに新プログラムが困難なら、本月間にちなんで、会長エレクトと次年度の計画を練り、反映させてくだされば幸いです。



VOL.08 CONTENTS

1P ガバナーメッセージ

6P 米山奨学会・文庫通信

2P~4P ガバナー公式訪問たより

7P 12月会員増強・出席報告

5P 第9・第6グループIM報告

8P 新入会員・物故者

ガバナー公式訪問たより

※ガバナー公式訪問たよりの掲載が、編集の都合により前後することがありますので、ご了承下さい。

今市きぬロータリー・クラブ

例会日 平成22年8月24日

会長 浅場 次男 幹事 三中 春彦

平成22年8月24日(火)今市きぬロータリークラブ例会場、ホテルつたやに於いて、ガバナー瀬下龍夫様、随員員の壬生ロータリークラブ会長 茂櫛正明様、そしてガバナー補佐 大出孝三郎様の3名をお迎えして午前11時より当クラブ役員(会長 浅場、幹事 三中、副会長 田辺、副幹事 大門、ロータリー情報委員長 鈴木、奉仕プロジェクトリーダー 小林)と懇談会を開催しました。ガバナー補佐の司会進行により開始致しました。今年度の当クラブ職業奉仕において会員企業での移動例会開催は素晴らしいアイデアですと、お褒めをいただき、今後も長期の計画を立てるように御指導いただきました。また、クラブ現況報告書に対しては幾つかの改善点の御指摘をされ、今後見直したいと考えております。また、報告書自体の表紙に触れ、自然観に溢れた写真で他のクラブにない素晴らしい出来ですね、とのお言葉をいただきました。

12時30分よりガバナー一同を全会員の拍手でお迎えし例会を開始致しました。和やかな雰囲気の中ガバナー御自身の体験談や国際ロータリーに関してのお話をいただきました。またロータリーの基本(四つのテスト)のお話は会員一同大変興味深い内容でした。ガバナーの前職 企業経営者としてのお考えは、大変勉強になりました。

その後、ガバナー 瀬下様より総評をいただき今後のクラブ運営に役立てたいと思います。

素晴らしい公式訪問になり会員一同、感謝いたしております。

ガバナー 瀬下様、誠にありがとうございました。



宇都宮陽北ロータリー・クラブ

例会日 平成22年10月5日

会長 黒崎 行雄 幹事 薄久保仁司

10月5日(火)、ベルヴィ宇都宮において、瀬下ガバナー、矢嶋ガバナー補佐、茂櫛会長、刀川地区幹事をお迎えして、公式訪問が行われました。

午前11時よりガバナーとの協議会が12時迄行われました。陽北ロータリークラブからは黒崎会長、薄久保幹事、長会長エレクト、岩村副会長、浜野広報委員長の5名が参加しました。矢嶋ガバナー補佐から、当クラブが毎年実施している「絵本を読む会」について、現代社会に於いては、その意義は誠に大きいものがあるので、「新世代委員会」として取り扱ってもよいのでは、という指摘を頂きました。12時30分からの例会後12時50分から1時20分迄、ガバナーの卓話を頂戴致しましたが、「より多く奉仕する者は、より多く報われる」というご意見は、仏教やキリスト教の「布施」にも通じるところがあり、感慨深いところがありました。1時30分から記念撮影を行い、1時40分から2時30分迄、炉端会議を行いました。テーマは「出席率向上・会員増強・新入会員教育」の3テーマでした。例会を楽しく、充実させる工夫をすることが大切だということで、会員間の繋がりを密にして、各会員の存在感を出すように心がけたく、今後努力して参りたいと考えを新たにしました次第です。



宇都宮ロータリー・クラブ

例会日 平成22年11月9日

会長 荻山 猛彦 幹事 加藤 幸夫

11月9日(火)、瀬下ガバナー・茂櫛地区副幹事、それに我が宇都宮クラブの矢嶋ガバナー補佐をお迎えして、東武ホテルグランデで公式訪問が行われました。

瀬下ガバナーは午前10時過ぎには到着され、早速プロジェクターの準備、スクリーンの位置等の確認をし、卓話の準備をされました。午前11時から、会長・幹事との懇談会が、当クラブの青木会長エレクトを交えて始まり、瀬下ガバナーはクラブの現況報告書を詳細に読み込まれており、組織図の誤字、クラブ定款の改定と審議会決議との関係など細かくご指導頂きました。

その後例会では、国際ロータリーの長期計画について分かりやすくビジョンや、三大優先事項、更には中核となる価値観などについてお話を頂きました。そしてバナーの交換後、記念撮影、そして会場を移動してクラブ協議会が始まりました。今回はフリーディスカッション形式で、荻山会長の進行のもと当クラブ独自プログラムである100年委員会の問題点、インターアクトの件などについて瀬下ガバナーから各委員会の活動に対する懇切丁寧なアドバイスを頂きました。今回の瀬下ガバナーの公式訪問でご指導頂きましたことを糧に、今後のロータリー活動をより活発なものにしてまいりたいと思っております。



足利わたらせロータリー・クラブ

例会日 平成22年11月11日

会長 矢澤 伯夫 幹事 倉林 宏

11月11日(木)、公式訪問として、瀬下ガバナーが随員する長谷川ガバナー補佐、刀川地区幹事と共に足利わたらせロータリークラブにお越し頂きました。お迎えすべく早めに例会場に参上したつもりが、ガバナーの方が先に来場されており、御無礼お詫び申し上げます。

懇談会には、わたらせ RC の地区委員等もご一緒させていただき、和やかな雰囲気の中、瀬下ガバナーのロータリーに対する考えや、お勧め本、またオフレコ話なども伺え、参加した会員は大変貴重な時間を過ごせた事と感じております。例会での瀬下ガバナーの職業倫理を中心とした記念卓話を終え、クラブ協議会へと移り、程よい緊張感の中、各委員会報告の都度、ガバナーよりお考えを頂く形で、進行していきました。

ガバナーにはどの委員会においても、既存の価値観、慣わしに捕らわれない多角的視点からのご意見を頂くことが出来、今後の我がクラブの発展につながるであろう事と思えます。予定された時間を大きく超過してしまいましたが、そんな事を感じさせないクラブ協議会でした。

今年度足利わたらせロータリークラブは20周年を迎えます。その記念すべき年のガバナー公式訪問は瀬下ガバナーにお越し頂きました事により、大変充実した公式訪問となりました。心より感謝申し上げます。20周年記念行事に再びお会いできる事を大変楽しみにしております。



11月16日(火曜日)、瀬下ガバナー・長谷川ガバナー補佐をお迎えして、足利プリオパレスに於いて公式訪問が行われました。約束していた午前10時より以前に来訪され、卓話時に使用するプロジェクターの準備等をはじめとして、瀬下ガバナーの一拳手一投足に、公式訪問の緊張と瀬下ガバナーのロータリー活動に対する熱い思いを知る場面が多々御座いました。午前11時より懇談会が開催され、特に職業奉仕部門についてガバナーのお考えを拝聴し、今後のクラブ運営に対しご指導をいただきました。現況報告書については特に18年と継続事業であるWCSについては、本格的に国際奉仕活動をしているのは足利東ロータリークラブしかないのではないか、素晴らしい事と思う。今後ともこの活動に期待を寄せられ、責任の一端を感じました。又、社会奉仕委員会活動では、本年より社会のニーズを捉え、人権問題、児童虐待等の問題に目を向け、ロータリーより問題を提起し、シンポジウムの開催を提案し、第1回は12月2日、足利事件のご本人を講師に、市民公開講座を開催した。また米山奨学財団基金について、諸外国の青少年受け入れに使用すると同時に、現在の経済状況下においては、次代を担う青少年の海外派遣等にも使用すべきだろうと瀬下ガバナーの私案も話された。

そして現在のロータリー活動は地域社会から遊離している感もあり、インターアクトクラブ・ロータリーアクトクラブの活動を始めとし、各委員会においても、職業奉仕を通じて、地域社会参画型の奉仕活動が必要ではなかろうか等、特にRI において12歳と提唱のあったインターアクトクラブの今後の青少年活動について活発な意見交換が行われた。

例会におきましては、プロジェクターにより、ユーモアを交えながら、自らのロータリーに対する熱い思いを語って頂き、これからのクラブ運営に大変参考になりました。引き続きクラブ協議が別室で開催され、各委員長より委員会方針を傾聴して頂き、よきアドバイスを頂戴した協議会でありました。今年度のガバナー公式訪問について、クラブ員一同奉仕活動の充実とさらなる責任を感じました。



11月17日(水) 瀬下龍夫ガバナー、小玉 新ガバナー補佐、刀川清満地区幹事、壬生ロータリークラブ石村寿夫様をお迎えして開催されました。

午前中に行われた懇談会では、クラブ現況報告書を詳細にご覧いただき問題点をご指導いただきました。ご指摘いただいた事柄は、全会員に伝え今後のクラブ運営に役立てていく所存でございます。

例会では、国際ロータリーの2011-2013年の長期計画についてのプロジェクターを用い、身近な例を挙げながら解り易く説明していただきました。特に指名されて“ビジョン”と“使命”の読み上げをした二人の若い会員には記憶に残る出来事になったと思います。

続いて行われたクラブ協議会では、各常任委員会の発表と質問に、一つ一つ丁寧に解り易く回答いただきました。日頃疑問に思いながら、解らないままに放置していることの回答を得られ、各委員会のリーダーとしてこれからのロータリー活動に役立ててくれるものと思います。

ガバナーにとりまして最後の公式訪問となった当クラブは如何でしたでしょうか。国際ロータリーの考えを伝えるべく数ヶ月に亘る奔走には、健康、時間等いろいろな苦勞や工夫をなされた事と思います。正に“超我の奉仕”と敬意を表し、今後もロータリーの為に活躍をお願い致します。ありがとうございました。



IM 報告

第9グループ

2010年12月4日開催

ガバナー補佐 小玉 新 (田沼 RC)



小玉 新ガバナー補佐



金子実行委員長



田村会長 (田沼 RC)



講演者 鈴木勝美様

小玉新ガバナー補佐 (田沼 RC) のホストによる5クラブのIMは、田沼クラブの例会場【道の駅 どもんなか田沼】大ホールで100名以上の出席の下、盛大に執り行われました。各クラブの会長の現況報告に続き、記念講演「礼を忘れた日本人」は、日本礼法規範研究所代表 鈴木勝美氏 (元鹿沼 RC) の笑いと、時に涙を誘う素晴らしい内容の講演でした。

懇談会に移った後も、途中で退席する会員も予想外に少なく、地元在住のケーナ奏者の演奏を聴きながら、美味しい中華料理に舌鼓を打つ…。

最後の手に手つないでまで、参加者に大好評のIMとなりました。

第6グループ

2011年1月20日開催

ガバナー補佐 石村 光正 (栃木南 RC)

第6グループは栃木 RC、栃木西 RC、壬生 RC、栃木南 RC の4クラブで構成され、今年度は栃木南 RC がホストとして開催致しました。午前11時から新入会員研修セミナーを行い、講師には瀬下ガバナー (壬生 RC) に特別にお願いいただきました。内容は、ロータリーの歴史・目的・理念・4つのテスト・職業奉仕等、プロジェクターを使い解り易く、記憶に残る研修ができました。

午後からは約100名の会員と共に本会議が始まり、ホストの栃木南 RC 長谷川孝会長から第6グループの4クラブで取り組んでいるタイの小学校に浄水器を贈るマッチングプロジェクトについて、また、石村光正ガバナー補佐から「地域を育み大陸をつなぐ」についての挨拶がありました。

そして、メインの講演会では國學院大學栃木高等学校ラグビー部監督の吉岡肇先生の『ゼロからのスタート』の講演が行われました。吉岡監督は國學院大學久我山高校、リコー、日本体育大学と常に日本一を課せられたチームでご活躍された経歴をもっていました。昭和63年にラグビーの何もない兄弟校の國學院栃木高校にラグビー部を作ることで栃木に赴任されました。愛好会からのスタートで、企業のグラウンドや運動公園のグラウンドを借りての練習でした。1989年1月の県新人戦でベスト4に入り、部への昇

格が認められ、11月の大会では準優勝をして強豪校への一步を歩みはじめました。全国大会(花園)へ11年連続、16回出場を果たしています。選手が大会を通して一戦一戦、強くなっていくことや、11年連続していく中で、毎年入部者の数がまちまちであっても、レベルを上げていけるのは上級生から下級生へ伝えていくことができていること、そして、國學院栃木高校ラグビー部の強さは、1日2時間の「濃縮練習」と「自主性尊重」であること。そして指導者として情熱をもって取り組んでいるとの講演でした。



石村光正ガバナー補佐



長谷川会長 (栃木南 RC)



会場風景



講演者 吉岡 肇様



台湾学友会総会報告 — 広がる日本人支援の輪 —

台湾米山学友会〔(社) 中華民国扶輪米山会〕の年次大会が12月11日、台北市内で開かれました。台湾学友会は1983年結成と最も古い米山学友会であり、2002年には台湾で社団法人の資格を取得。現在、第5代理事長を務める許國さん(2005-06年度第3490地区ガバナー)のリーダーシップのもと、日本との交流や奉仕活動を活発に行っています。

今回の総会では、ポリオによる肢体不自由のハンディキャップを背負いながら、発明家として成功を収めた劉大潭氏による感動的な講演が行われました。また、恒例の新入会員紹介のほか、台湾学友会が実施する日本人若手研究者支援奨学金の第1期生、山下世莉さんと、第2期生の笹川優子さんが登壇して、支援に対する感謝を述べました。学友会では、今年募集する第3期生から2名に増やす予定とのこと。

同日には、昨年発足した台湾のSY-A奨学金学友会の総会も開かれました。海外学友会推薦奨学金(旧SY-A奨学金)を受けて台湾に帰国した元奨学生によって構成される同学友会からは、「ワーキングホリデーで来台する日本の若者を支援する独自の奉仕活動を始めた」との嬉しいニュースが報告されました。1年間、学友が支援対象の若者のカウンセラーとなってホームステイで住居を提供するほか、仕事を探す手伝いや、文化体験や交流の機会を設けて、日台親善交流の促進を図る制度で、すでに1名の日本人青年が支援を受けて、台湾での生活をスタートさせました。

台湾の学友たちの深い感謝の気持ちを反映して、日本人支援のプログラムは広がりを見せつつあります。

文庫通信 (280号)

ガバナー月信より

- ◎ 「例会の充実はクラブ会員による卓話から」 上野 操 2010 1p (D.2580)
- ◎ 「ロータリーは、新世代を育む場」 辰野克彦 2010 1p (D.2750)
- ◎ 「2010年から活動を開始するロータリー・コーディネーター」 村上勘一 2010 1p (D.2540)
- ◎ 「職業奉仕はロータリーの根幹」 瀬下龍夫 2010 1p (D.2550)
- ◎ 「『論語と算盤』と職業奉仕」 飯村慎一 2010 1p (D.2550)
- ◎ 「職業奉仕月間にあたり」 土屋亮平 2010 1p (D.2790)
- ◎ 「職業奉仕月間によせて」 関原亨司 2010 1p (D.2800)
- ◎ 「出席義務を考えるーロータリー簡単図解その9」 鈴木章夫 2010 1p (D.2520)
- ◎ 「国際インナーホイールへの入会の勧め」 鈴木俊幸 2010 1p (D.2510)
- ◎ 「愈々次年度からGSEと青少年交換が始まる」 山口 勝 2010 1p (D.2720)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp
 開館 午前10時~午後5時 休館 土・日・祝祭日

国際ロータリー第2550地区 12月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	例会数	出席率		会 員 数							
			今 月	平 均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増 減	内女性員
第1グループ	大 田 原	3	88.04	83.35	39	38	0	1	0	1	-1	2
	黒 磯	4	93.30	95.48	44	42	0	0	0	2	-2	2
	西 那 須 野	3	94.85	95.13	42	44	0	0	3	1	2	0
	黒 羽	4	97.06	97.20	19	17	0	0	0	2	-2	1
	那 須	3	73.81	78.18	14	14	0	0	0	0	0	1
	塩 原	4	70.45	72.11	10	11	0	0	1	0	1	0
	大田原中央	4	69.40	75.53	23	27	0	0	5	1	4	2
第2グループ	烏 山	3	92.85	92.85	14	14	0	0	0	0	0	1
	氏 家	3	90.48	90.87	24	24	0	0	0	0	0	0
	矢 板	3	61.50	64.68	31	31	0	0	0	0	0	5
	馬 頭 小 川	4	90.50	91.58	21	21	0	0	0	0	0	0
	高 根 沢	4	82.00	76.04	18	17	0	0	0	1	-1	0
第3グループA	宇 都 宮	3	72.00	73.82	92	96	1	2	8	4	4	0
	宇 都 宮 西	3	87.82	87.15	66	68	0	1	4	2	2	0
	宇 都 宮 北	3	86.99	82.36	49	48	0	1	0	1	-1	0
	宇 都 宮 90	3	88.67	88.57	39	40	1	0	1	0	1	5
	宇 都 宮 陽 北	3	79.82	77.62	35	34	0	0	0	1	-1	4
第3グループB	宇 都 宮 東	3	94.76	94.00	95	96	0	1	3	2	1	0
	宇 都 宮 南	4	81.52	83.66	51	48	0	3	0	3	-3	0
	宇 都 宮 陽 東	4	71.00	68.05	44	46	0	0	2	0	2	0
	宇 都 宮 陽 南	4	81.25	87.06	20	18	0	2	0	2	-2	2
第4グループ	真 岡	4	93.23	91.09	50	50	1	1	2	2	0	0
	益 子	4	94.00	92.45	29	31	0	0	2	0	2	0
	真 岡 西	3	96.49	95.73	40	40	0	0	0	0	0	6
	し も つ け	4	94.53	92.04	33	32	0	0	0	1	-1	8
第5グループ	小 山	3	94.90	97.13	39	37	0	2	0	2	-2	0
	小 山 南	4	92.50	94.01	18	20	0	0	2	0	2	2
	小 山 東	4	93.94	94.08	33	33	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	4	85.40	81.77	20	22	0	0	2	0	2	0
	小 山 中 央	3	83.30	83.67	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃 木	4	78.57	80.85	41	41	0	0	0	0	0	0
	栃 木 西	3	79.63	84.10	35	36	0	0	1	0	1	0
	壬 生	3	100.00	96.25	21	20	0	0	0	1	-1	3
	栃 木 南	4	95.00	90.50	31	31	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日 光	3	75.32	71.75	24	24	0	0	0	0	0	5
	鹿 沼	3	81.28	78.24	66	66	0	0	0	0	0	1
	今 市	4	91.46	91.49	41	41	0	0	1	1	0	0
	鹿 沼 東	4	96.53	95.13	43	45	0	0	2	0	2	3
	栗 野 西 方	4	84.00	83.58	14	14	0	0	0	0	0	1
	鹿 沼 中 央	4	84.26	86.11	27	27	0	0	0	0	0	2
第8グループ	今 市 き ぬ	3	96.43	93.45	28	27	0	1	0	1	-1	0
	足 利	4	65.75	72.32	40	38	0	1	1	3	-2	0
	足 利 東	3	78.30	79.62	55	59	0	0	4	0	4	8
	足 利 西	3	76.90	75.30	13	13	0	0	0	0	0	0
第9グループ	足 利 わ たら せ	3	95.24	94.60	28	28	0	0	0	0	0	0
	佐 野	2	93.35	93.06	58	58	0	0	0	0	0	0
	葛 生	3	96.50	92.70	38	38	0	0	0	0	0	0
	田 沼	3	98.10	92.04	35	36	0	0	1	0	1	0
	佐 野 東	4	90.91	88.86	21	21	0	1	2	2	0	0
岩 舟	5	82.00	88.33	22	22	0	0	0	0	0	1	
50RC			86.32	86.11	1757	1768	3	17	47	36	11	71

【訂正のお詫び】月信1月号の出席報告の欄の宇都宮陽南RC出席率に誤字がありました。正しくは、11月93.75・平均88.22です。お詫びして訂正いたします。